



1人死亡54人けが

本県沖地震

20市町村に避難所

東北道ひび 新幹線運休

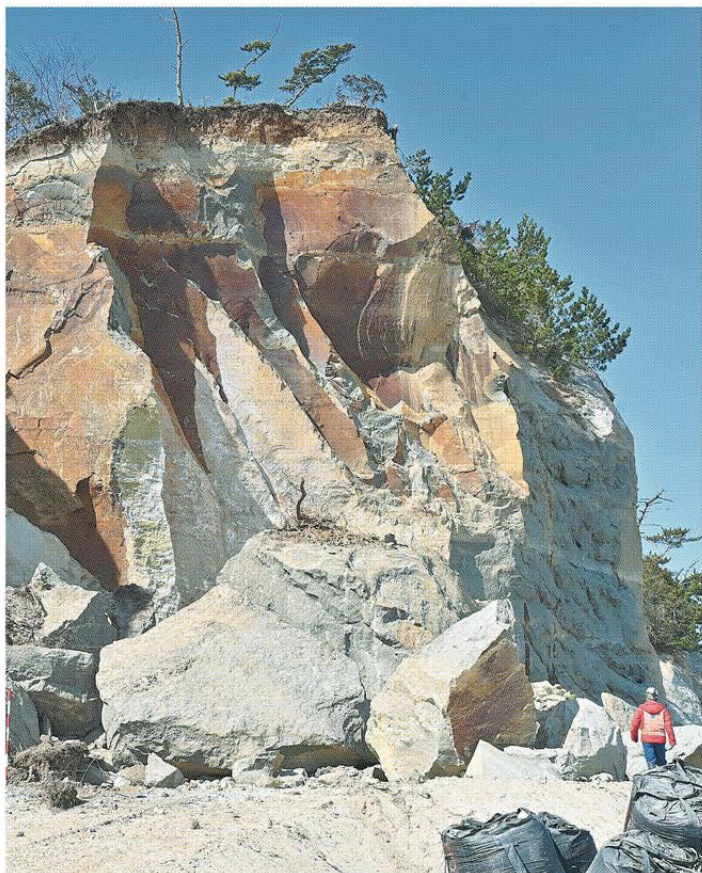
本県沖を震源に16日深夜に発生した最大震度6強の地震で、県のまとめ(17日午前7時現在)によると、相馬市の60代男性が死亡したほか、福島市や郡山市などで54人が重軽傷を負った。亡くなった男性は避難しようとした際、自宅2階の窓から転落したという。津波注意報の発表を受け、相馬市や新地町など10市町が541世帯1340人に避難指示を発令し、1

71世帯315人を避難所に受け入れた。20市町村が計90カ所に開設している。JR東日本によると、東北新幹線は宮城県白石市内で起きた脱線の影響で、那須塩原―盛岡間で始発から運転を見合わせており、再開の見通しは立っていない。東京―那須塩原間と盛岡―新函館北斗間は臨時ダイヤで運行。在来線は東北線や磐越西線、磐越東線、常磐線などで一部列車が運休するなど影響が出ている。県によると、住宅の被害などは調査中だが、一部損壊が1件確認されている。

公共の建物などは11件が被災。道路は、あぶくま高原道路矢吹―小野インターチエンジ(IC)間や伊達市の国道399号など、県管理道路15路線16カ所で全面通行止めとなり、一部で順次解除されている。高速道路は常磐道、東北道、相馬福島道路の一部で通行止めが続いている。学校関係では、県立学校全110校が臨時休校となった。小学校155校、中学校86校も休校した。東北電力によると、17日午前10時現在で約2万700戸で停電が続いている。



地震で崩れ落ちた空き家=17日午前9時、国見町(ドローンで撮影)



工事中の鵜ノ尾岬崖崩落現場に転がる岩石=17日午前9時46分、相馬市